

問題用紙

令和8年度大学院獣医生命科学研究科
応用生命科学専攻博士前期課程
第1次入学試験問題用紙

受験番号

英語

共通

I

以下の英文を読んで、下の問題に答えなさい。

この問題は著作権許可が得られていないため、掲載いたしません。

* NOAA: National Oceanic and Atmospheric Administration.

出典: "Climate change: global temperature" (NOAA Climate.gov)

問題1 下線部①～④を和訳しなさい。

問題2 文章中の「1850-1900」とは何を指しますか？

問題用紙

令和8年度大学院獣医生命科学研究科
応用生命科学専攻博士前期課程
第1次入学試験問題用紙

受験番号	
------	--

英語

共通

Ⅱ

次の英文の下線部①～④を和訳せよ。(②④は太字の意味を補足して和訳すること)

この問題は著作権許可が得られていないため、掲載いたしません。

出典:National Geographic Science “Alarming levels of microplastics found in human brains.” By Olivia Ferrari
<https://www.nationalgeographic.com/science/article/microplastic-human-brain-health> (を一部改変)

frontal cortex 前頭前野, be to blame 悪い, olfactory bulb 嗅球, dementia 認知症

令和8年度日本獣医生命科学大学
大学院 獣医生命科学研究科

応用生命科学専攻博士前期課程
第1次学力試験

英
共

語
通

I
「解答例」

この問題は著作権許可が得られていないため、掲載いたしません。

令和8年度日本獣医生命科学大学
大学院 獣医生命科学研究科

応用生命科学専攻博士前期課程
第1次学力試験

英
共

語
通

Ⅱ

「解答例」

この問題は著作権許可が得られていないため、掲載いたしません。

令和8年度日本獣医生命科学大学
大学院 獣医生命科学研究科

応用生命科学専攻博士前期課程
第1次学力試験

英
共

語
通

I
「出題意図」

今回の英語の問題では地球温暖化についての話題を選びました。
その意図としては2点あります。1つめは、科学を志す者はその時代における重要な社会問題に対して、ある程度の意識を向けるべきであり、同時に多かれ少なかれ、その影響を免れないという思いからです。そのため、この現象についてのニュース記事を理解することが求められると考えて、比較的に平易な英語で書かれた英文を出題しました。2つめは、応用生命科学部には動物科学科と食品科学科の2つがありますが、両方の受験生が受ける試験問題なので、どちらにも偏らない話題として、なおかつ科学が関係する重要な社会問題である地球温暖化を選びました。

令和8年度日本獣医生命科学大学
大学院 獣医生命科学研究科

応用生命科学専攻博士前期課程
第1次学力試験

英
共

語
通

Ⅱ

「出題意図」

今回、ヒトに吸収されたマイクロプラスチック(MPs)が脳に到達することを示した研究報告を紹介する記事を取り上げました。昨今、人間活動から廃棄・漏出されるMPsが海洋生態系に及ぼす影響を懸念する報道が多くなされています。生命科学の分野に身を置く学生には、関心や予備知識を持ってほしい話題ですし、取り上げた英文記事は理解しやすい内容だろうと考えました。問題では、大学院の研究活動において学術論文を多読し、理解した内容を表現する力をはかるため、抜粋した4つの英文を翻訳することを指示しています。前後の文脈に沿って当該文の意味を正しく理解し、的確な翻訳文を作成できるか評価します。